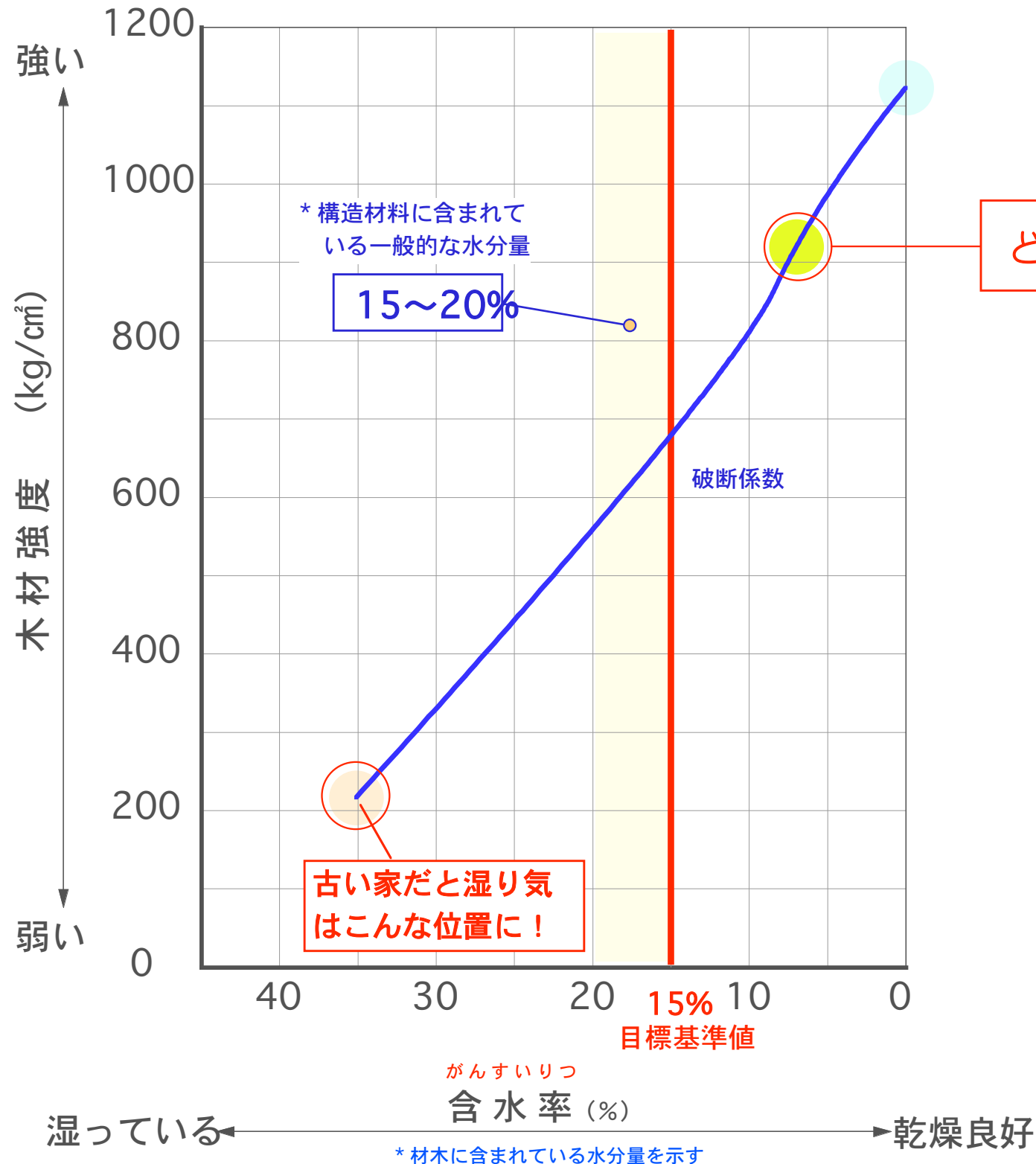


# どまだんスタイルの家

住んだ後で、構造材はこんなに強くなりました

**強さが基準値の 1.4 倍！**



建築基準法の定める含水率15%程度を、生活しながら維持するのは、実はそれほど簡単ではありません。築年数を経た建物を調べれば明確ですが、壁体内結露や漏水等による壁の中の湿気は抜けるものではありません。構造材の含水率は相当に高く、従って、新築時の強度を素材そのものが維持できていない状態です。どまだんスタイルの最も画期的な点は壁の中の空気を淀まさないことと、木材の含水率を住みながらどんどん下げて、新築時より丈夫にすることです。



○ 現在どまだんシステム®を入れた、築2年目のお宅。春ですから運転をしていませんが、、、**土台含水率の測定結果**は以下の通り。

含水率 / 1点目: 5回平均 7.4%      2点目: 5回平均 7.1%  
 測定ポイントは直接太陽光線のあたらない床下でかつ水廻りの下部  
 外気温度 17.7℃ 湿度 58%      床下温度 21.9℃ 湿度 48%  
 測定日 2008.05.08 14:00

数字で見ると地味ですが8%を切っているというのは、見事です！

\* 含水率計 / 株式会社ケット科学研究所「木材水分計MT-700」  
 測定方式 / 電気抵抗式    測定範囲 / 5 - 40%  
 測定精度 20%未満 ±0.5%  
 上記による概算「950kg/cm<sup>2</sup>で基準含水率時の1.4倍の強度」を所持。

上記は、冬寒く湿度も高い地域「新潟の住宅」での測定結果。冬場のシステム稼働により、壁体内結露を防止するだけでなく、乾燥促進する事によって、初夏においても実現し得る「含水率への効果」が読める。